

「ジョゼと虎と魚たち」「メゾン・ド・ヒミコ」の映画監督犬童一心の最新作、世界的ダンサー田中泯の体験型ドキュメンタリー「名付けようのない踊り」は、全国の劇場での公開及びバリアフリー製作に向け、クラウドファンディングをスタート。

プラットフォームはMotionGallery、11月8日より2022年1月11日まで実施。目標金額は700万円。

株式会社スカイドラム

2021年11月10日

報道関係者各位

犬童一心監督初 ドキュメンタリー映画、クラウドファンディングを11月8日より開始



▼クラウドファンディングページ

https://motion-gallery.net/projects/unnamable_dance

▼「名付けようのない踊り」公式ホームページ

<https://happinet-phantom.com/unnamable-dance/>

■概要

「なぜ今、彼に惹かれるのか」今数々の著名人の注目を一身に集めるダンサー・俳優の田中泯。この映画のサイトや宣材には、役所広司、オダギリジョー、宮沢りえ、大泉洋、笑福亭鶴瓶、山田洋次など著名人の言葉がずらりと並んでいる。その皆を唸らせる圧倒的な存在感はどこから生まれてくるのか？その76年の人生を描いたドキュメンタリーが完成。全国公開とバリアフリー上映に向けクラウドファンディングを開始した。

■背景

2016年、田中泯から「ポルトガルで踊るので、良かったら奥さんと一緒に来られませんか？」という誘いが犬童にあり、折角の機会なのでプロの劇映画カメラマン2人を同行して撮影。帰国後15分程に編集、すると、とても魅力的な、そしてかつて見たことのないダンス映像となっていて、新鮮な長編映画になり得る可能性を感じる。しかし脚本もなく出来上がりが想像出来ない映画に、資金を集める事は困難を極めたため、自己資金を使い、田中泯の踊りを海外にまで同行しながら長期間に渡り撮影した。

2年後、撮り貯めた膨大な映像をもとに**脚本を執筆**。インタビュー、ナレーションなど言葉に頼ったドキュメンタリーでなく、「**感覚を刺激する体験型ドキュメンタリー**」という難題に挑戦した。

助成金も活用しながら完成した後に、公開を応援してくれるパートナーを探し**製作委員会を組成**、東京での公開を決めた。体験型の映像ゆえ劇場の存在が重要、全国の隅々、さらに世界の劇場で映画を届けるためには更なる資金が必要であり、そして**この映画の感覚を多くの人と共有するために視覚、聴覚の障害者にもバリアフリー上映を実現させたい**。そのためにクラウドファンディングを実施する事となった。

■クラウドファンディング概要

「制作ノート」にて、この映画の**制作秘話をコレクター限定で更新**。この映画を実際に観る前にどのように完成して行ったのかその過程を共有。第一回目は作品中重要な部分を担うアニメーションを担当した世界的アニメーターの**山村浩二**に注目している。

リターンには、**田中泯**から提供された「場踊り」写真の**ポストカード**やサイン入りの過去の公演**ポスター**を始め、**福島県浪江町**で撮影協力を仰いだ松永窯で制作する**大堀相馬焼オリジナルマグカップ**、目黒シネマでの**先行試写会**、田中泯の顔を描いた**ポスターTシャツ**、シネカリフィルムの複製品、さらには**未公開シーンを収録したDVD**を犬童監督監修のもと作成など、この映画ゆかりのオリジナルな品々を用意している。



(リターンの例) オリジナルポスターTシャツ



大堀相馬焼 オリジナルマグカップ

■会社・団体概要

会社名：株式会社スカイドラム / 代表取締役社長：犬童一心 / 創立：2019年5月 / URL：<http://skydrum.co.jp/>

住所／東京都世田谷区桜丘5-44-2-101

本件に関するお問合せ先 株式会社スカイドラム

担当：犬童 TEL：03-6323-1022 MAIL：minor@skydrum.co.jp